

社会参加プロジェクト



草木染めに参加しているご利用者の二人と、染め物指導の平澤さん(右上)、草木染めプロジェクトの発案者・執行役員の上井さん(左上)、活動を支える介護士の中垣内さん(中央)

参加する活動を自分で選択できる 短時間リハビリ型デイサービス

岐阜県高山市にある「リハビリ型デイサービスLocomoきりん(以下、Locomoきりん)」は、2015年9月に個別リハビリに特化したデイサービスとしてオープンしました。「介護が必要な状態になっても、望む場所で最期まで、自分らしく生きられる地域にしたい」という考え方にに基づき、ご利用者が豊かな在宅生活を送れるように支援しています。

事業所概要

- 法人名 / 株式会社ケアトピック
- 事業所名 / リハビリ型デイサービスLocomoきりん
- 住所 / 岐阜県高山市大新町4丁目175番地
- 定員 / 18名

- 職員配置 /
リハビリ専門職…4名
(常勤OT・PT各1名、非常勤OT・PT各1名)
- 介護職員…5名
- 看護師…1名
(訪問看護ステーションきりんと連携)

今月の
施設紹介

お伺いしました



地域との連携をかなえる ご利用者のリハビリと、

生 涯、社会とつながるために
自分ができることを増やす場所

株式会社ケアトピック
リハビリ型デイサービス
Locomoきりん(岐阜県)

Locomoきりんを運営する株式会社ケアトピックでは、同法人が提唱する『福祉の里構想*』に基づき、グループ全体で地域密着のさまざまな取り組みを行っています。

「ご利用者様のために」と介護サービスを多く提供することがあって普通の社会とのつながりを断ってしまいやすい。もっと地域社会とのかかわりを持てるよう、リハビリも福祉も変えていかなければいけない」と話す執行役員の上井さん。

※きりんグループの連携やスタッフの専門性を生かし、ご利用者や地域の方々が幸せに共生し、誰もが住みよい社会をつくるためのビジョン

そのビジョンの一つとして2021年10月にスタートした草木染めは、地域交流の中でつながった「株式会社木と暮らしの制作所」と協同で始めたプロジェクトです。地元産の木材で家具を製作する際に副産物として出る樹皮や木のチップを有効活用し、ご利用者の力を借りて、1枚ずつ丁寧に、ナチュラルでやさしい色合いに染め上げます。ご利用者の作業的なりハビリにとどまらず、本当に社会に必要とされる高品質な商品を生産し納入することで、「社会的な役割」と“喜び”を得ることを大切にしています。

活動の参加は自由ですが、楽しそうな活動の様子を見ていたほかのご利用者も自発的に加わるが増え、今では草木染めをすることを目的に来所するご利用者もいるほどです。「サービス利用日ではない日でも、染め物をするためだけに来所される方もいるんですよ」と笑顔で話す責任者の加藤さん。

「運動して身体機能を高めることも効果はありますが、自分がやりたいことに熱中して活動することでそれ以上の効果が出ています」と上井さん。ご利用者が自主的に活動することで、身体機能の維持・向上だけでなく、やりがいや達成感、心の健康づくりにもつながっています。

自分で選ぶから訓練だって楽しい

短時間リハビリを行うLocomoきりんでは、限られた時間(午前の部、午後の部/各3時間10分)を有効に使い、ご利用者の希望に沿ったリハビリを行っています。集団体操や専門職の個別機能訓練のほか、空いた時間には草木染めの活動など、そのときの気分や体調によって自由に選択が可能です。



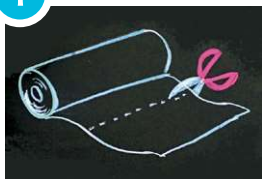
個別トレーニングの様子

地元企業や地域の人と連携することで、 「商品」として選ばれる仕組み

ご利用者がやりがいや達成感を得るためには、「商品」としての価値を高めて販売につなげることが重要だと考え、草木染めの指導をしてくれる人材探しを開始。そのときに出会ったのが、地元・高山市で染め物の活動をしている平澤さんでした。この活動に指導者として加わり、週2日、ご利用者とスタッフの指導にあたっています。専門知識を持つ指導者の下、裁縫やアイロンがけなど指先を使うことを得意とするご利用者の技術はどんどん上がり、たくさんのお客様に選ばれる高品質の商品を生み出しています。

「草木染め」の制作から納品までの工程

1 布の裁断



ロール生地をはさみで切り分ける

2 のり落とし



①の生地を煮て、のりを落とす

3 染める



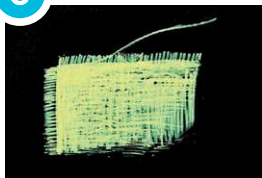
樹皮や木のチップを煮出した湯で②を染める

4 生地を整える



③を乾かし、生地の手を切りそろえる

5 フリンジを作る



竹串で端の糸を抜き、フリンジを作る

6 アイロンがけ



霧吹きをしながら、アイロンをかける

7 梱包作業



畳んで、専用の封筒へ入れる

8 納品



「木と暮らしの制作所」へ納品する

イラストは、デイルームの黒板に描かれた平澤さんお手製の工程表

草木染めにはさまざまな工程があるため、ご利用者ができる作業、得意な作業を分担できることが魅力の一つです。

みんなで力を合わせて商品が完成したときの喜びは、ご利用者の達成感とさらなる挑戦意欲をかき立てます。

栗の木の樹皮で染めた生地を竹串を使ってフリンジに。手指のリハビリにもなります



やさしい風合いが人気の草木染め

草木染めの委託元である「木と暮らしの制作所」の卸先の家具店のほか、地元イベントなどで販売されています。

その品質の高さから、草木染めの「商品」としてたくさんのお客様に選ばれています。

布の裁断から商品の梱包まですべての工程を
ご利用者が担当

デイになじめない 男性ご利用者の心を動かした 「やりがい」と「仲間」のチカラ

別法人のデイサービスになじめず、移ってこられた男性ご利用者のAさん。最初はLocomoきりんでも落ち着かず、ほかのご利用者とうまく交流できませんでした。そんな日々の中、始まった草木染めの活動。当初は誘っても「やりたくない」と言っていたAさんでしたが、周りのご利用者が楽しく活動する様子を見て、少しずつ興味を持つようになりました。

そんなAさんを見て、「一緒にやろう！」「手伝ってよ」と声をかけてくれたのは、活動に参加していた女性たちです。元気な声に後押しされるように活動の輪に加わったAさんでしたが、数ヶ月たった今では、熱心に草木染めを行う姿が見られるようになりました。仲間と一緒に作った商品が地元の店やイベントなどで好評を博したことで「お客さんにもっと喜ばれる商品を作ろう」と意欲が高まり、来所日には必ず活動に参加しています。

夢中になれることを見つけたAさんは穏やかになり、ユーモアな人柄でほかのご利用者やスタッフを笑顔にしています。



黒板に記された目標と納品数



作業に熱中する草木染めの参加者の皆さま

ご利用者の人生に しっかり寄り添った 個別訓練で 社会復帰を後押し

リハビリ型デイサービスのLocomoきりんでは、ご利用者の豊かな在宅生活を支援するだけでなく、現役世代の社会復帰にも力を入れています。ご利用者に希望を聞きながら一緒に目標を立て、そのために必要な身体機能の維持・向上を目指して専門職がきめ細やかに個別訓練を指導。Locomoきりんを卒業したご利用者が社会で活躍しています。

脳卒中の40代男性(要介護4)の場合

目標 元の職場に復帰して働きたい

1. ケアマネを通し、元の職場に問い合わせ

ご利用者が職場復帰を希望していること、リハビリ後も身体的に難しいことがあることなどを元の職場に説明し、復帰に向けた訓練をすることへの承諾を得る。

2. 元の職場をスタッフが視察

後日、ご利用者とスタッフが実際に元の職場へ伺い、職場の状況を見せていただく。また、復帰後の仕事内容として、10kgほどの荷物を手で持って運ぶ作業のほか、拭き掃除などの清掃作業を行うことを確認。

3. 職場での作業を具体的に練習

リハビリの一環として、デイ内の鏡や窓、棚を拭く、ホウキを使った掃き掃除などの清掃作業を行う。また、少しずつ重さを増やししながら、10kgの荷物を持って運べるように訓練する。

4. 通勤バスに乗る練習

バス停までの移動のほか、階段の上り下りなどを訓練する。

5. 希望通り、元の職場に復帰

約2年のリハビリを経て、元の職場で復帰を果たす。